

法律科目試験問題（刑事訴訟法） 配点50点

問1 次の設例を読んで、下の問いに答えなさい。（配点20点）

平成22年8月11日、関係者からの通報により、Vが自宅においてナイフで胸部を刺されて死亡しているのが発見された。その後、Vの口座から銀行の現金自動預払機により同年8月10日付で多額の現金が引き出されていたことが分かったため、警察官は、銀行から任意提出を受けた防犯ビデオを調べたところ、ビデオに写っていた人物はVとは別人であったことが確認された。

警察官は、その後の捜査により事件への関与が疑われたXと防犯ビデオに写っていた人物の同一性を判断するため、同年8月30日、X宅近くの路上に停車した捜査車両の中から、Xが自宅玄関を開けて外に出てくる様子をビデオカメラで撮影した。撮影された画像は、防犯ビデオに写っていた人物とXとの同一性を専門家が判断する際の資料とされ、その専門家により鑑定書等が作成された。

その後、Xは強盗殺人の罪により起訴され、第1審において検察官は本件鑑定書の証拠調べを請求した。

問い 本件鑑定書の証拠能力を検討しなさい。

問2 次の①～③の用語について、それぞれ150字程度で簡潔に説明しなさい。（配点30点）

- ① 捜査比例の原則
- ② 公訴権濫用論
- ③ 法律的関連性